中国・四国地方

名前

問1　農業就業者1人あたりの耕地面積が約1.6haと、全国平均や他地域に比べて非常に小さい香川県において、農業産出額の構成比で特に高い割合を占めている品目の特徴として、最も適当なものを次の中から選びなさい。（2018年 長崎県公立入試 類似）

1. 広大な土地での大規模経営に適した小麦や豆類
2. 広大な放牧地や飼料畑を必要とする乳用牛や肉用牛などの畜産
3. 単位面積あたりの収益性が高く、集約的な栽培が行われるレタスなどの野菜
4. 冷涼な気候を活かして大規模な機械で一斉に収穫する工芸作物

問2　中国地方5県の人口密度を示した統計において、密度が高いことを示す網掛けがなされている広島県、岡山県、山口県の地理的な共通点として適切なものはどれか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）

1. すべて瀬戸内側に位置しており、交通や産業が発達している。
2. すべて内陸の中国山地に位置しており、林業が主な産業となっている。
3. すべて日本海に面しており、冬の積雪が非常に多い地域である。
4. すべて山陰地方に位置しており、広大な平野を活用した農業が盛んである。

問3　中国地方に位置し、瀬戸内海に面したある県では、臨海部の埋立地を中心に石油化学コンビナートや製鉄所、自動車工場が集まる重化学工業が発達しています。また、温暖な気候の丘陵地では「白桃」や「マスカット」といった高級果実の栽培が盛んに行われています。この特徴にあてはまる都道府県として正しいものを選んでください。（2020年 徳島県公立入試 類似）

1. 鹿児島県
2. 静岡県
3. 北海道
4. 岡山県

問4　統計資料において、第2次産業の割合が約15パーセント、人口密度が1平方キロメートルあたり約630人と示される岡山県には、日本を代表する重化学工業の拠点があります。この拠点の名称と立地する市の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 愛知県公立入試 類似）

1. 周南コンビナート ― 周南市
2. 水島コンビナート ― 倉敷市
3. 鹿島コンビナート ― 神栖市
4. 四日市コンビナート ― 四日市市

問5　広島県周辺の統計において、広島市のような都市部と大崎上島町のような離島部を比較した際、現在の離島部に見られる人口や世帯構成の特徴として最も適切なものはどれですか。（2023年 兵庫県公立入試 類似）

1. 合計特殊出生率が急激に上昇したことで、15歳未満の人口割合が都市部を上回り、単身世帯の割合は減少している。
2. 若年層の流入により核家族化が進んでいるため、高齢化率は低く抑えられており、単身世帯の割合も都市部より低い。
3. 総人口が減少する過疎化が進む一方で、高齢化率が都市部より高く、高齢者の独り暮らしによる単身世帯の割合も増加傾向にある。
4. 都市部からの高齢者の移住が相次いでいるため、総人口は増加しており、それに伴って単身世帯の割合も急激に低下している。

問6　高速交通網の整備によって地方と大都市の間の移動が容易になった結果、地方の住民が買い物などのために大都市へ流出し、地元の商業活動が衰退してしまう現象を何といいますか。（2024年 埼玉県公立入試 類似）

1. スプロール現象
2. ドーナツ化現象
3. ヒートアイランド現象
4. ストロー現象

問7　本州四国連絡橋の各ルートと、それらが結ぶ都道府県の組み合わせとして、適切なものはどれですか。（2024年 和歌山県公立入試 類似）

1. 瀬戸大橋ルート ― 兵庫県と香川県
2. 神戸・鳴門ルート ― 大阪府と徳島県
3. 尾道・今治ルート ― 山口県と愛媛県
4. 児島・坂出ルート ― 岡山県と香川県

問8　ある統計資料において、果実産出額が497億円に達し、近隣の県や三重県などの他県と比較しても非常に高い数値を示している県があります。この県では、瀬戸内地方の温暖な気候を活かして、みかんなどの柑橘類の生産が盛んに行われています。この特徴に合致する県はどこですか。（2019年 三重県公立入試 類似）

1. 和歌山県
2. 青森県
3. 愛媛県
4. 宮崎県

問9　かつて大阪・徳島間の移動はフェリーの利用を含め約650分を要していましたが、交通網の整備により約350分へと大幅に短縮されました。この変化が四国地方の農水産物の出荷に与えた影響について、最も適切な説明はどれですか。（2016年 福岡県公立入試 類似）

1. 瀬戸大橋の開通により岡山県を経由するルートが主流となったため、徳島県産の農水産物は四国内での消費が中心となった。
2. 本州四国連絡橋の開通によって輸送時間が短縮されたことで、物流が効率化し、鮮度が重視される農水産物の出荷量が増加した。
3. 高速道路の整備によって四国内の移動は円滑になったが、本州側への輸送距離が長くなったため、大阪市場への出荷量は減少した。
4. 鉄道網の整備によって大量輸送が可能になったことで、フェリーによる輸送が完全に廃止され、輸送コストが大幅に上昇した。

問10　中国・四国地方の太平洋側（高知など）の気候統計では、7月から9月の降水量が約960mmと非常に多くなる傾向があります。このような降水量分布を生じさせる気象要因の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）

1. 夏の季節風、梅雨前線、および台風の影響
2. 冬の季節風、およびシベリア高気圧の影響
3. 対馬海流（暖流）と北西の季節風の影響
4. フェーン現象による乾燥した空気の影響

問11　日本の農業に関する統計資料において、農業就業者1人あたりの耕地面積が約1.6haと全国で最も小さい水準にありながら、農業産出額における野菜の割合が他地域よりも高い地域が見られます。このような地域が、北海道のような大規模経営を行う地域と比較して、生産を維持するために重視している経営上の背景として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2018年 長崎県公立入試 類似）

1. 広大な原野を牧草地として活用し、一頭あたりの生産コストを抑える背景
2. 温暖な気候と豊富な水資源を利用し、米の二期作によって収穫回数を増やす背景
3. 限られた耕地に多くの資本や労働力を投入し、土地あたりの収益性を高める背景
4. 労働生産性を高めるために大型機械を導入し、一人あたりの作付面積を拡大する背景

問12　日本の諸地域のうち、香川県の高松市などに代表される瀬戸内地域の気候において、年間を通じて降水量が少なくなる主な要因は何ですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 北側の中国山地と南側の四国山地が、湿った季節風を遮る壁のような役割を果たしているため
2. 北側の中国山地から吹き下ろす冷たい風が、冬の間に大量の雪を降らせて空気中の水分を奪うため
3. 南側の四国山地が台風の接近を完全に防ぎ、夏から秋にかけての降水がほとんど見られないため
4. 標高の高い中国山地と四国山地に挟まれた盆地状の地形で、常に上昇気流が発生して雲が消滅するため

問13　四国地方を構成する4つの県のうち、太平洋側に位置し、黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用した農業などが盛んな高知県の県庁所在地はどこですか。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 松山市
2. 高知市
3. 徳島市
4. 高松市

答え合わせ・解説

問1	答え 3 単位面積あたりの収益性が高く、集約的な栽培が行われるレタスなどの野菜	香川県は平野部が限られており、農業就業者1人あたりの耕地面積が全国でも最小規模です。北海道のような広大な土地を必要とする大規模な「土地利用型農業」を行うのが難しいため、限られた面積から高い収益を得る必要があります。その結果、レタスをはじめとする野菜の生産に力を入れる「集約的な農業」が発達し、農業産出額に占める野菜の割合が非常に高いという特徴を持っています。
問2	答え 1 すべて瀬戸内側に位置しており、交通や産業が発達している。	広島県、岡山県、山口県の3県は、いずれも瀬戸内海に面した「山陽（瀬戸内）」と呼ばれる地域に属しています。この地域は、古くから海上交通の要所であったことに加え、山陽新幹線や高速道路などの交通網が整備されています。そのため、瀬戸内工業地域などの工業集積が進み、都市が発達して人口密度が高くなっています。一方、白い空白（低密度）で示される島根県と鳥取県は、山陰地方に位置しています。
問3	答え 4 岡山県	岡山県は瀬戸内工業地域の一角を担っており、特に倉敷市の水島地区などの臨海部では、石油化学工業や製鉄業、自動車工業などの重化学工業が非常に盛んです。一方で、内陸の丘陵地では温暖で降水量が少ない気候を活かし、白桃やマスカット・オブ・アレキサンドリアといった付加価値の高い果物栽培が行われているのが大きな特徴です。
問4	答え 2 水島コンビナート ― 倉敷市	岡山県の人口密度や産業構造のデータから読み取れる通り、同県は製造業が盛んな地域です。特に倉敷市の水島地区は、広大な土地と大型船が接岸できる港湾機能を活かし、石油精製や鉄鋼生産を行う「水島コンビナート」として全国的に知られています。
問5	答え 3 総人口が減少する過疎化が進む一方で、高齢化率が都市部より高く、高齢者の独り暮らしによる単身世帯の割合も増加傾向にある。	都市部から離れた離島や中山間地域では、就職や進学を機に若者が都市へ流出する過疎化が深刻です。その結果、残された地域では総人口に占める高齢者の割合（高齢化率）が上昇します。また、子供世代が都市部で生活を営み、親世代と別居する形態が一般的になっているため、離島に残された高齢者が配偶者との死別などを経て独り暮らしになるケースが多く、単身世帯の増加につながっています。合計特殊出生率の向上や核家族化による若年層流入は、現在の離島の統計的傾向とは一致しません。
問6	答え 4 ストロー現象	交通網の整備により、地方から大都市へのアクセスが向上すると、消費者がより品ぞろえの豊富な大都市へと「吸い寄せられる」ように流出することがあります。この様子を、コップの中の飲み物がストローで吸い上げられる様子に例えてストロー現象と呼びます。利便性の向上が、かえって地方の消費や商業にマイナスの影響を与える側面を説明する際に用いられます。
問7	答え 4 児島・坂出ルート ― 岡山県と香川県	本州四国連絡橋の「児島・坂出ルート」は、岡山県倉敷市児島と香川県坂出市を結んでおり、その中心となるのが瀬戸大橋です。「神戸・鳴門ルート」は兵庫県と徳島県を、「尾道・今治ルート」は広島県と愛媛県を結んでいます。大阪府や山口県から直接四国へ架かっている連絡橋はありません。
問8	答え 3 愛媛県	瀬戸内海に面した愛媛県は、年間を通じて温暖で晴天の日が多い気候特性を持っています。この気候を活かした果樹栽培、特にみかんをはじめとする柑橘類の生産が非常に盛んであり、統計データにおいても野菜産出額や工業出荷額と比較して、果実産出額が際立って高いという特徴があります。青森県はリンゴ、宮崎県はピーマンなどの促成栽培、和歌山県も柑橘類で有名ですが、資料の数値や瀬戸内の気候条件の説明から愛媛県を特定できます。
問9	答え 2 本州四国連絡橋の開通によって輸送時間が短縮されたことで、物流が効率化し、鮮度が重視される農水産物の出荷量が増加した。	本州と四国を陸路で結ぶ「本州四国連絡橋」が整備されたことで、それまでのフェリー利用に比べて移動時間が劇的に短縮されました。この交通網の変革は、特に鮮度が求められる真鯛などの水産物や野菜の輸送に大きな利点をもたらしました。輸送のスピードアップと効率化が実現した結果、徳島県などの四国地方から大阪といった大消費地への出荷が容易になり、市場での取り扱い量が増大する要因となりました。
問10	答え 1 夏の季節風、梅雨前線、および台風の影響	太平洋側の地域は、夏に小笠原高気圧から吹き出す南東の湿った季節風の影響を強く受けます。さらに、初夏の梅雨前線の停滞や、夏から秋にかけて接近・上陸する台風によって、短期間に大量の雨が降ることが多いため、年間降水量も非常に多くなります。これに対し、日本海側の冬季の多雨は北西の季節風が主因となります。
問11	答え 3 限られた耕地に多くの資本や労働力を投入し、土地あたりの収益性を高める背景	1人あたりの耕地面積が小さい香川県などでは、土地を広げることによる増収が困難です。そのため、狭い土地に手間（労働力）や肥料・施設（資本）を集中させる「集約的農業」を選択し、野菜などの付加価値の高い作物を育てることで経営を成り立たせています。これに対し、北海道などは広い土地を効率よく扱う「粗放的農業」の傾向が強く、経営の仕組みが根本的に異なります。
問12	答え 1 北側の中国山地と南側の四国山地が、湿った季節風を遮る壁のような役割を果たしているため	瀬戸内地域は北を中国山地、南を四国山地という険しい山地に挟まれています。夏は太平洋側から吹く湿った季節風が四国山地によって、冬は日本海側から吹く湿った季節風が中国山地によってそれぞれ遮られます。湿った空気は山を越える際に雨や雪を降らせるため、それらの山を越えて瀬戸内側に吹き込む風は乾燥した状態になり、結果として年間降水量が少なくなります。
問13	答え 2 高知市	四国地方の南部を占める高知県の県庁所在地は高知市です。四国山地の南側に位置し、高知平野を中心に都市が形成されています。他の選択肢である高松市は香川県、徳島市は徳島県、松山市は愛媛県の県庁所在地であり、これらはいずれも四国の北側に位置しています。